

麓山の杜 みどり通信

発行元 21世紀記念公園 麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL 924-2194 FAX 924-2195

【もう、出生記念樹の申請はされましたか】

郡山市にお住まいで、お子さんが生まれた方に記念樹として樹木の苗木を1本プレゼントしていましたが、平成25年度で終了しました。対象となる方で希望される場合は、申請期間内に申請されるようお知らせします。

プレゼント対象者 郡山市にお住まいの方で、平成26年3月31日までに出産した方。

申請方法 申請書に添付して提出してください。(出生届の写しまたは母子手帳の写し)

申請期間 出産後1年以内

申請窓口

- ・21世紀記念公園 麓山の杜 024-924-2194
- ・郡山カルチャーパーク 024-947-1600
- ・郡山市都市整備部公園緑地課 024-924-2361 ・各行政センター



ガーデニングポイント

【水やり】 これからは気温も下がり、植物の要求も少なくなり回数が減りますが、乾燥時にはどっぴりとあげます。特に、植え替えた場合は土の乾燥具合を確認します。また、鉢植えの場合はすぐに乾燥してしまう為、こまめに灌水が必要です。根元を腐葉土などでマルチングをして乾燥や寒さを防ぎます。あげ方のポイントは、乾いてきたら樹冠全体にもたっぷりあげます。葉の表面の汚れや病害虫を洗い流す効果もあります。土壌条件が適さないと、いくら水をあげても根に届かず、すぐ乾いてしまって枯れる原因にもなります。水の量は、地中深く根に届くまでどっぴりとあげます。

【肥料】 草花を植え付ける場合は元肥として、生育を続けさせる場合は追肥として、肥料が必要になります。樹木の場合は、多くの種類では必要はありません。

【病害虫防除】 病害虫は少なくなってきましたが居なくなったわけではなく、害虫は多くが幼虫や卵で越冬します。また、病原菌も発症した枝葉などに潜んでいるので、庭の落ち葉などは綺麗に片付けます。森の落ち葉などは自然に醗酵し腐葉土になりますが、庭は人工のものなので綺麗に掃き集めた後に腐葉土を撒いた方が良いでしょう。

植物も晩秋の装いになってきました

病気は予防が一番です。害虫の卵かい（卵のかたまり）を見つけたら、取り除いておくと来年の発生が少なくなります。春に発生するマイマイガには効果があります。イラカは、固い繭を取り除いておきます。マツカレハは、幼虫が混み合っている枝や樹皮に隠れて越冬します。食害されると葉先が茶色に変色しています。幼虫の幼齢時期に退治しておくのが肝心です。早めの時期に幹にコモを巻いて誘引する事も可能ですが、効果は限定的です。ただし、薬剤を使うわけではないので、安全でこの季節の風物となっています。また、春先にこのコモを外す時は、中に入っている天敵のクモなどは大事にして害虫は落とさないように一緒に焼却します。カイガラムシは、落葉後は特に目立ち樹皮や葉が黒くなるすす病を併発し、美観上も酷い状態になります。冬季の薬剤散布（マシン油乳剤）が効果があります。山林や庭のマツが急に赤くなる、マツノザイセンチュウによる松枯れが見られます。罹患すると、殆どが年内に枯れます。変色してからの対応策はないので日頃の管理が肝要です。枯れたマツは、来年の発生源になるので早めに処分します。病害虫の予防は、日頃からよく観察してその異常を早く見つける事です。

【剪定】 常緑樹は、剪定後の萌芽が弱くなります。また、サザンカやツバキなど多くの樹種が開花し、また蕾や花芽が出ています。その事から強い剪定は、極力避けます。郡山では冬の寒さを考慮して、開花後の剪定を行わず来春まで待ちます。園芸の雑誌で開花後に行うように書いてありますが、その地域の冬の温度を考えなければなりません。ツツジ類は、夏以降に剪定すると来年は殆ど花が咲きません。チャボヒバなどの針葉樹もこれからの刈込剪定は、その後の萌芽が悪い為に弱ってしまいます。マツ類は、今年伸びた枝は途中では切らないようにします。切ってしまうとそこからの芽が吹かず、その枝が枯れてしまう事があります。特にアカマツは注意してください。来年の芽を大事に残して置くようにします。古葉や混みあっている葉はむしり取ります。もみあげ

と言います。すっきりした樹形を楽しむ事ができ雪害も防げます。落葉樹は、落葉後から強い剪定が可能になり、特にモミジ類は落葉後が適期になります。遅くなると切り口から樹液が流れ出て樹勢を弱めてしまいます。ハナミズキやヤマボウシは、来年の蕾がわかりますので切り落とすまいにちようにします。樹種によりその時期に応じた剪定の強弱をつけます。美観だけを目的に剪定をするのではなく、「樹木は生き物」という概念を忘れてはいけません。

【植え替え】 常緑樹の移植は、これからはむきません。落葉樹はこの時期からが適期です。カエデ類は、剪定と同じく年内に終わらせます。針葉樹の移植は、霜が何度か降りてから大丈夫になります。ただし、これからも灌水は忘れずに行い、また根元を腐葉土などでマルチングします。

【年内、最後のみどり講習会です。ご参加をお待ちしています。】

【みどりのイベント】		※みどり講習会は、10:00~12:00開催 樹木医の先生がお答え致します。	
開催日時	教室名	内容	定員
11月16日(日) 10:00~15:00	記念樹交付及び みどり講習会	・記念樹の育て方初歩講座（季節の管理ポイント） ・寒さが苦手な樹木の管理について ・寒肥と冬季の限定の薬剤散布について	・記念樹申請者 ・受講希望者 無料

【冬越し】

北から冬の便りが届き始めました。朝晩、めっきり温度が下がりはじめました。寒さに弱い植物は、防寒の対策が必要になります。鉢植えのものは室内や軒下に取り込み、地植えの場合は冬囲いをして防ぎます。

植物は、冬でも光が必要です。寒さを塞いで光が入るような資材で囲んで、根元はマルチングします。



【街で見かけた植物】



ムベ【アケビ科】 別名：フユアケビ、フユムベ

アケビに似ていますが違います。関東南部から沖縄、朝鮮、中国、台湾に分布しています。しかし、郡山市近郊でも露地で栽培する事は可能です。常緑つる性木本で葉は互生、掌状複葉で小葉は3から7枚からなっています。実もアケビと違い開きません。熟期も10~11月と遅れます。しかし、アケビよりも甘くておいしく、滋養強壮効果があるといわれています。葉が3、5、7となるので縁起の良い木と言われています。写真は10月31日に撮影をしましたが、まだ実は少し硬い状態です。